

継続事業評価シート

評価確定日 平成31年4月3日

平成30年度(2年目)

Table with 3 rows and 10 columns containing project details like '事業コード', '事業名', '戦略コード', '戦略名', etc.

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

小規模事業者の経営環境が厳しさを増す状況において、商工会は、これまで以上に事業者が必要とされる組織となることが求められてる。そのためには、職員一人ひとりが知識やスキル、さらにはプロ集団としての意識を高めていく必要がある。

2. 事業のねらい

商工会職員のやる気と能力を引き出すため、経験や年功にとらわれない成果を重視した人事制度を構築する。

3. これまでの評価結果

Table with 7 columns: 過年度, H29, B, H30, H31, H32, H33

これまでの人事評価制度を見直し、平成29年度より実際の成果で判断する業績評価を導入し、給与格付けや賞与加算等の処遇に反映させる仕組みを構築した。当初計画では、平成29年より賞与加算を実施することとしたが、実績としては実施には至らなかった。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

平成30年4月より、能力評価・業績評価を総合的に勘案した評価結果を給与格付けに反映させた。また、同年6月賞与より業績評価結果を反映させた。

【取組評価】

Table with 7 columns: 取組コード, 取組, 実績, 必要性, 有効性, 効率性, 総合評価. Contains rows 42-46.

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

Table with 17 columns for detailed performance metrics, including '取組コード', '指標名', '年度', '目標', '実績', '達成率', '達成度'.

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 取組評価の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) a

〈評価の理由〉

組織・個人の目標達成への意識付けとして、頑張りが正当に評価される仕組みは必要不可欠である。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況 取組評価の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) a

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

本制度の導入により、職員一人ひとりの目標達成への意識が高まった。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)縮減のための取組状況 取組評価の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) b

〈コスト縮減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

今後は、評価者及び被評価者に対する研修を通して評価スキルの向上を図り、より適正な評価の実施につなげる。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(見直しが必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 B

計画と比較して半年程度の遅れは生じているものの、おおむね順調に推移している。また、職員の成果創出、目標達成につながっている。

3. 課題

評価スキルの向上によるより正当な評価の実施が課題となっている。

4. 今後の対応方針(改善点)

人事評価制度の運用上の課題を抽出し、適正な評価ができるよう運用の見直しを図る。